

3

トレーニングのコンテンツを多数追加

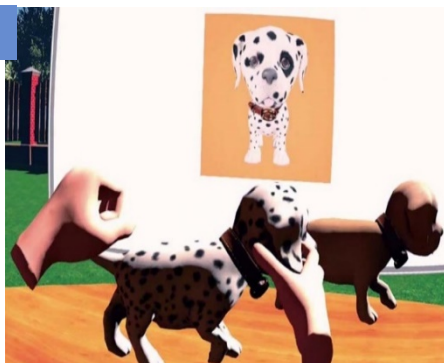


ハンドトラッキング機能も加わりましたので、新しいコンテンツを追加いたしました。

高次脳機能訓練のコンテンツを追加

記憶障害、注意障害、遂行機能障害などの回復を図るコンテンツを開発しました。障害の程度に合わせてレベルも選べます。最後に評価の発表があります。

コンテンツ例 犬猫



パネルに表示される犬種、猫種をみて、前を歩いてくる犬、猫から同じ種類のものをつかまえます。

上肢機能訓練のコンテンツを追加

指先を動かす、腕を奥、手前、上下に動かす、などの機能回復を図るコンテンツを開発しました。ハンドトラッキング機能を使って、レベルに合わせた訓練ができます。最後に評価の発表があります。

コンテンツ例 花びら

花びらをつまんでおしっていきます。



コンテンツ例 キャッチャー

上から落ちてくるボールを手を伸ばして、キャッチします。



歩く動作を選べる

「外出」「買い物」はコントローラーを上下に振って歩いていましたが、それに加えて歩行器やカートを押しながら進む機能を追加し、進み方を設定画面から選べるようになりました。

コンテンツ例 買い物



カートつかむ動作をすると前に進みます。

コンテンツ例 外出



歩行器をつかむ動作をすると前に進みます。

次号で新しく追加されたコンテンツをもっと詳しくご紹介しようと思っています!



ご期待
くださいませ